カテゴリー別ICTスキルー覧表 三木市版

三木市立教育センター

NO.	操　作	1年	2年	3年	4年	5年	6年	中学校	備考
A:基本操作									
1	タブレットを起動する（電源操作）。	○	・	・	・	・	・	・	
2	ID、パスワードを適切に管理する。	○	・	・	・	・	・	・	低学年は保護者の協力が不可欠
3	パスワードの変更ができる。			○	・	・	・	・	
4	アルファベット入力でログインできる。	○	・	・	・	・	・	・	低学年はキーボードにシールを貼るなどの工夫
5	バッテリー残量を確認し充電できる。	○	・	・	・	・	・	・	
6	キーボードの基本操作ができる（Enter、スペース、Delete等）。	○	・	・	・	・	・	・	
7	タッチパッド・タッチパネルの基本操作ができる（クリック、ダブルクリック等）。	○	・	・	・	・	・	・	ダブルクリック、ダブルタップは案外難しい
8	タッチパッド・タッチパネルでドラッグ&ドロップ、コピー&ペーストができる。		○	・	・	・	・	・	高学年以降ではCtrl+C/X/Vを教えるのも可
9	アプリケーションの一覧から、アプリケーションを起動できる。	○	・	・	・	・	・	・	
10	学習活動で用いるアプリケーションを選択して起動できる。		○	・	・	・	・	・	
11	ネットワークに接続しているかどうかを判断できる。		○	・	・	・	・	・	
B:文字入力									
1	キーボードからアルファベットや数字の入力ができる。	○	・	・	・	・	・	・	パスワードを入力するためにも必要不可欠
2	タッチペン入力ができる。		○	・	・	・	・	・	
3	ローマ字入力ができる。			○	・	・	・	・	3年生当初で、ローマ字とアルファベットの大文字小文字を学習するようカリマネ必要
4	半角／全角の切り替えができる。			○	・	・	・	・	
5	大文字と小文字の切り替えができる。	○	・	・	・	・	・	・	Shiftと同時入力で大文字に
6	文節ごとに変換することができる。				○	・	・	・	ある程度の語句を入力してからの変換で時間短縮
7	自分の名前をローマ字で入力できる			○	・	・	・	・	漢字変換もできるように
8	1分間に30文字以上入力できる。（1秒間に1打以上）						○	・	一般的なタイピングソフトの有効活用を
9	1分間に60文字以上入力できる。（1秒間に2打以上）							○	
C:フォルダ・ファイル管理									
1	ファイルを保存する。		○	・	・	・	・	・	
2	保存したファイルを開く。		○	・	・	・	・	・	
3	上書き保存ができる。		○	・	・	・	・	・	
4	後でわかりやすい名前を付けてファイルを保存する。 (保存日+ファイル名→ex:20200908理科レポート)			○	・	・	・	・	この入力方法で、原則新旧順に並ぶ
5	ネットワークフォルダや外部メディアに保存したファイルを開く。			○	・	・	・	・	
6	ファイルの新旧がわかる。				○	・	・	・	
7	本体保存のファイルをネットワークフォルダへ移動する。				○	・	・	・	
8	自分の領域にフォルダを作成し、フォルダ内のファイル整理をする。					○	・	・	
9	ファイルの種類（拡張子）を知る。					○	・	・	
D:カメラ機能（写真・動画）									
1	写真を撮影する。	○	・	・	・	・	・	・	撮影時に許可を得る（肖像権）といった情報モラル教育も必要
2	動画を撮影する。		○	・	・	・	・	・	
3	撮影した写真を拡大や縮小、トリミングをする。			○	・	・	・	・	
4	静止画の簡単な編集をする。				○	・	・	・	
5	写真や画像のファイルサイズを小さくできる。						○	・	リサイズは保存容量を確保するためにも重要
E:インターネット検索									
1	インターネットに接続し、閲覧する。		○	・	・	・	・	・	
2	キーワードで検索をする。			○	・	・	・	・	AND検索　OR検索　NOT検索で効率アップ
3	「お気に入り」に登録をしたり、削除したりする。			○	・	・	・	・	時間短縮につながる
4	入手した情報の真偽を複数のサイトで確かめる。			○	・	・	・	・	同時に情報モラル教育も行う
5	ブラウザ（edge、chromeなど）が複数あることを知る。					○	・	・	
F:Microsoftアプリ（Word【W】/Excel【E】/Power Point【P】/Teams【T】）									
1	【W】文字の大きさや色などをカスタマイズする。			○	・	・	・	・	Word操作練習ファイル有 必要な場合はセンターまで
2	【W】余白や文字（行）数、文字の方向などのレイアウトをする。			○	・	・	・	・	
3	【W】図や写真、表などを挿入する。					○	・	・	
4	【E】連番、日付の入力、並びかえができる。					○	・	・	
5	【E】基本的な関数（合計・平均など）を使用する。					○	・	・	算数・数学、理科等で活用可
6	【E】表からグラフなどを作成する。					○	・	・	
7	【P】プレゼンテーションを作成する。				○	・	・	・	
8	【P】プレゼンテーションに画像や動画を取り込む。					○	・	・	・写真や画像を入れる際は著作権に注意
9	【P】プレゼンテーションにアニメーションをつける。					○	・	・	・情報モラル教育が必要
10	【P】プレゼンテーションを使って発表する。				○	・	・	・	
11	【W・E・P】画像を利用したファイルのサイズを小さくできる。						○	・	リサイズは保存容量を確保するためにも重要
12	【T】指定されたチームに参加する。	○	・	・	・	・	・	・	
13	【T】会議に参加する。	○	・	・	・	・	・	・	低学年については保護者の協力が不可欠
14	【T】状況に応じてカメラやマイクのON、OFFができる。	○	・	・	・	・	・	・	
15	【T】チーム内で共有されたファイルを取り込む。				○	・	・	・	

NO.	操　作	1年	2年	3年	4年	5年	6年	中学校	備考
G:SKYMENU									
1	ログインする。	○	・	・	・	・	・	・	・授業支援ソフトの基本 ・授業における、学級内での協同作業や、課題の配布、回収等便利な使用法が多数
2	カメラからQRコードを読み込み、Webへアクセスする。	○	・	・	・	・	・	・	
3	電子連絡板の内容を確認する。	○	・	・	・	・	・	・	
4	先生からの発表ノートを受け取って編集し、提出する。	○	・	・	・	・	・	・	
5	ポジショニング機能で、自分の考えをマークする。	○	・	・	・	・	・	・	
6	発表ノートをグループで共有し、グループで作品を見合う。		○	・	・	・	・	・	
7	発表ノートをグループで共有し、グループで作品を作る。			○	・	・	・	・	
8	シンプルプレゼン機能で、要点を明確にした作品を作る。					○	・	・	
H:コラボノート									
1	「コラボノート」にログイン・ログアウトできる。			○	・	・	・	・	・学習支援ソフトの一つ ・新聞作成の枠など、テンプレートが豊富 ・依頼があれば、サポートセンターがテンプレートを作成してくれる ・コラボノートを使っていないところ（高校、市外学校、企業、地域など）とも交流が可能
2	指定のノートを開くことができる。			○	・	・	・	・	
3	指定のページを開くことができる。			○	・	・	・	・	
4	「ふせん」や「画像」を任意の場所に移動することができる。			○	・	・	・	・	
5	「ふせん」や「画像」を任意の大きさに変更することができる。			○	・	・	・	・	
6	「ふせん」や「画像」をコピーして別の場所に貼り付けることができる。			○	・	・	・	・	
7	写真を適切な大きさに加工し「画像」で貼付することができる。			○	・	・	・	・	
8	新聞や感想を協働作業で同時に作成することができる			○	・	・	・	・	
9	自分の考えを記入した「ふせん」を使用して意見交換をすることができる。				○	・	・	・	
I:タブレットドリル									
1	ログインし、基本設定（学年、利き手）をする。	○	・	・	・	・	・	・	・各種ドリルの代わりにもなる ・宿題にも適している
2	問題に取り組む。	○	・	・	・	・	・	・	
3	先生からの課題を受け取り、取り組む。	○	・	・	・	・	・	・	
J:その他									
1	ピクチャーキッズを使用して絵を描く。	○	・	・	・	・	・	・	小学校の描図、写真編集ソフト
2	デイジーピックスを使って絵を描いたり、写真を加工したりする。							○	中学校の描図、写真編集ソフト
3	プリンタを使って印刷をする。		○	・	・	・	・	・	

※ このスキル一覧で指定している学年は、「遅くともこの学年では身に付けておいてほしいスキル」という認識です。ここで示されているスキルを前もって指導していただく分には、まったく問題ありません。